



## 長野県総合5か年計画（原案） に対する県民の皆様からのご意見を募集します

長野県では、令和5年度を初年度とする次期総合5か年計画の策定を進めています。このたび、原案がまとまりましたので、その内容について広くご意見を募集します。

### 1 募集事項

長野県総合5か年計画（原案）に対するご意見

### 2 募集期間

令和4年12月26日（月）から令和5年1月24日（火）まで

### 3 計画（原案）の閲覧方法

(1) 下記のリンクからご覧いただけます。

[https://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/kensei/soshiki/shingikai/ichiran/sogokeikaku/plan3/public\\_comment\\_20221226.html](https://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/kensei/soshiki/shingikai/ichiran/sogokeikaku/plan3/public_comment_20221226.html)

(2) 県庁総合政策課、行政情報センター（県庁西庁舎1階）、地域振興局の行政情報コーナーでもご覧いただけます。

### 4 意見の応募方法及び提出先

上記ホームページに掲載している意見提出様式により、次のいずれかの方法でご意見をお寄せください。

#### (1) 郵送

〒380-8570（県庁専用郵便番号のため、住所の記載は不要です。）  
長野県 企画振興部 総合政策課 学びと自治の県づくり推進担当 あて

#### (2) ファクシミリ

026-235-7471

#### (3) 電子メール

plan-iken@pref.nagano.lg.jp

#### (4) ながの電子申請サービス ホームページアドレス

[https://s-kantan.jp/pref-nagano-u/offer/offerList\\_detail.action?tempSeq=28841](https://s-kantan.jp/pref-nagano-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=28841)



### 5 その他

- ・いただいたご意見については、個別に回答はいたしません。ご意見の概要と県の考え方を個人・団体名が特定されない形で長野県ホームページに公表する予定です。
- ・ご意見のうち、趣旨が不明瞭なものなどについては県の考え方を示さない場合があります。
- ・ご記入いただいた個人情報は、他の目的には一切使用しません。
- ・ご意見を正確に把握するため、電話及び口頭での意見は受付いたしません。

概要

# 長野県総合5か年計画（原案）

令和4年（2022年）12月

長野県

# 長野県総合5か年計画（原案）の全体像

## はじめに

- 今後の県づくりの方向性を県民と共有し、共に取り組むための、いわば共創型の総合計画
- 概ね2035年の長野県の将来像を展望し、これを実現するための今後5年間(2023～2027年度)の行動計画
- 県まち・ひと・しごと創生総合戦略[デジタル田園都市国家構想総合戦略を勘案して策定]
- SDGsの達成に寄与するもの[経済・社会・環境の3側面の課題に統合的に取り組み、誰一人取り残さない社会の実現を目指す]

## 第1編 現状と課題

### 長野県を取り巻く状況

- 少子化と人口減少の急速な進行
- 東京一極集中から地方分散への動き
- 気候変動への対応や持続可能な社会の実現に向けた動き
- 自然災害や感染症などの脅威
- 激変する国際情勢
- 社会におけるデジタル化の急速な進展
- 社会に存在する様々な格差
- ライフスタイルや価値観の多様化

### 長野県人口の推移と将来展望

- これまでの人口推移
- 長野県人口の将来展望

### 長野県の特徴

- 学びの風土と自主自立の県民性
- 自立分散型の県土
- 変化に富んだ豊かな自然環境
- 多様な文化と豊かな交流
- 大都市圏からのアクセスの良さ
- 全国トップレベルの健康長寿
- 地域で育まれてきた特色ある産業

### これまでの取組の成果

- 8つの「重点目標」の進捗状況
- 6つの「政策推進の基本方針」の進捗状況

## 第2編 政策構築・推進に 当たっての共通視点

### 「長野県を取り巻く状況」を踏まえた視点

- 女性・若者の希望を実現し、少子化を食い止め人口減少に対応する
- 人権の尊重や公正さ、多様性・包摂性を追求し、誰一人取り残さない
- 環境対策を徹底し、環境と調和した持続可能な発展を追求する
- デジタル技術を徹底活用する
- 世界を視野に入れ行動する

### 「長野県の特徴」を踏まえた視点

- 県民に息づく「学びと自治の力」を生かす
- 信州の強み・地域の個性を生かす

## 第3編 基本目標とビジョン

### 基本目標

確かな暮らしを守り、信州からゆたかな社会を創る

→P2

### ビジョン

「確かな暮らしを守る」のビジョン 「ゆたかな社会を創る」のビジョン

→P3

## 第4編 施策の総合的展開

→P4

### 1 持続可能で安定した暮らしを守る

- 1-1 地球環境を保全する
- 1-2 災害に強い県づくりを推進する
- 1-3 交通や水道など社会的なインフラの維持・発展を図る
- 1-4 健康づくり支援と医療・介護サービスの充実を図る
- 1-5 県民生活の安全を確保する

### 2 創造的で強靱な産業の発展を支援する

- 2-1 産業の生産性と県民所得の向上を図る
- 2-2 人や社会に配慮した環境再生的で分配的な経済を実現する
- 2-3 地域に根差した産業を活性化させる

### 3 快適でゆとりのある社会生活を創造する

- 3-1 住む人も訪れる人も快適な空間をつくる
- 3-2 文化、スポーツの振興などゆとりある暮らしを創造する

### 4 誰にでも居場所と出番がある社会をつくる

- 4-1 子どもや若者の幸福追求を最大限支援する
- 4-2 年齢、性別、国籍、障がいの有無や経済状況等が障壁とならない公正な社会をつくる
- 4-3 働き方改革の推進と就労支援を強化する
- 4-4 女性が自分らしく輝ける環境をつくる
- 4-5 高齢者の活躍を支援する

### 5 誰もが主体的に学ぶことができる社会をつくる

- 5-1 一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びを推進する
- 5-2 一人の子どものもとでも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境をつくる
- 5-3 高等教育の振興により地域の中核となる人材を育成する
- 5-4 「共学共創」の地域づくりを推進し、生涯を通じた多様な学びを創造する

## 第5編 新時代創造プロジェクト

→P7

- 1 女性・若者から選ばれる県づくりプロジェクト
- 2 ゼロカーボン加速化プロジェクト
- 3 デジタル・最先端技術活用社会実現プロジェクト
- 4 個別最適な学びへの転換プロジェクト
- 5 人口減少下における人材確保プロジェクト
- 6 グローカル経済システム再構築プロジェクト
- 7 県内移動の利便性向上プロジェクト
- 8 輝く農山村地域創造プロジェクト

## 第6編 地域計画

→P8

### 地域のめざす姿

#### 佐久

青空・高原・清流が織りなす風土、人々の知恵が紡ぎ出す多彩な暮らし・産業・学びが魅力  
住んでよし・訪れてよしの佐久地域は、錦の花さく地域を目指します

#### 上田

多彩な魅力で人を惹きつけ、暮らしやすさを実感し、脱炭素社会をリードする上田地域

#### 諏訪

～諏訪の湖(うみ)・八ヶ岳(やま)の恵み～  
活力ある地域を未来につなぐ

#### 上伊那

人々の思いが力が重なり 高まり 未来を創る  
二つのアルプスに護られた水と森林(もり)と太野の伊那谷

#### 南信州

リニア新時代のドアを拓く 伝統文化と最先端技術が輝く南信州

#### 木曾

豊かな自然と歴史・文化に育まれた「木曾らしい」暮らしを維持する地域づくり

#### 松本

人々が生き、賑わいあふれ、快適で暮らしやすい信州の中心「松本地域」

#### 北アルプス

北アルプスの恵みを活かした観光や農林業などの産業が栄え、暮らす人が幸せを実感し、訪れる人が感動する地域をめざします

#### 長野

人が輝き活力あふれる「中核的都市圏・長野」

#### 北信

豊かな大地と自然に恵まれたふるさと 雪とともに暮らす北信州

## 第7編 計画推進の基本姿勢

- ① 県民とのパートナーシップによる行政運営を推進する
  - ・県民起点の意識づけを徹底する
  - ・主体性とホスピタリティを持ち、スピーディーに行動する
  - ・県民参加による対話型の行政運営を推進する
  - ・多様な主体との共創を推進する
- ② 市町村等との連携を推進する
- ③ 地方分権の推進に取り組む

## 【基本目標】 確かな暮らしを守り、信州からゆたかな社会を創る

### 確かな暮らしを守る

- 今日、短期的には新型コロナウイルス感染症、国際情勢の激変による物価高騰、中長期的には気候変動とそれに伴う災害の激甚化・頻発化、急激な人口減少とそれに伴う担い手不足など、様々な危機が複合的に押し寄せています。
- こうした中で、明日への希望を持って日々の生活を送ることができ、万一の場合には温かな支援を受けることができるという安心がある状況を守っていきます。

### ゆたかな社会を創る

- 社会の成熟やグローバル化、デジタル化の進展などにより、人々のライフスタイルや価値観が多様化し、物質的な豊かさだけでなく、生活の質やゆとりなど精神的な豊かさを重視する傾向が高まっています。
- こうした中で、経済的な繁栄を享受するとともに、多様性が尊重され健康で文化的な人間らしい生活が営まれる社会、すなわち一人ひとりの県民がしあわせ(Well-being)を実感できる社会を目指していきます。
- また、ゆたかな社会を築く礎として、暮らしを支える「社会的共通資本」を地域の関係者とともに維持・発展させていきます。

これらの考えは、「誰一人取り残さない」という誓いの下、経済・社会・環境の統合的向上を図ることに  
より持続可能な世界を実現するSDGsにも呼応するものです。将来世代のためにも、社会経済システムの  
大きな変革、転換を図り、こうした社会を長野県が全国のトップランナーとして他に先駆けて創り出して  
いきます。

# ビジョンについて

- ・基本目標の「確かな暮らしを守る」、「ゆたかな社会を創る」を、より具体化した目指すべき社会の方向性をビジョンとして掲げます。

## 1 「確かな暮らしを守る」のビジョン

- 医療・検査体制の確保等により、新型コロナ禍であっても救える命が救われている。
- 現下の物価高騰を克服し、コロナ禍等で停滞した社会経済活動が再生・活性化している。
- 省エネルギーや再生可能エネルギーの普及が進み、脱炭素社会に近づいている。
- ハード・ソフトの両面から災害への備えが強化されている。
- 出生数の減少傾向に歯止めがかかり、移住者やつながり人口が増加している。
- 地域社会に不可欠な医療・福祉、農林業、交通・建設業等の担い手が確保されている。
- 水道や交通などの公共インフラが安定的に維持・運営されている。

## 2 「ゆたかな社会を創る」のビジョン

- 産業の生産性向上・働き方改革により、県民の所得が向上し多様な働き方が実現している。
- デジタル技術の活用により、公共サービスや事業活動の利便性や効率性が向上している。
- 結婚・子育て、教育など子ども・若者や女性の幸福追求が最大限保障されている。
- 性別、障がい、所得等による差別・格差の解消が進み、誰にでも居場所と出番がある。
- 高校改革、高等教育・リカレント教育の振興等により、学びの県づくりが進んでいる。
- 医療機関の機能分担と連携が進み、介護サービスが質・量ともに充実している。
- 健康に生活できる期間が長くなり、多くの高齢者が現役で活躍している。
- 観光地域づくりやまちの緑化などが進み、快適でうるおいのある空間が増加している。
- 農山村や過疎地域等が人をひきつけ、人間的な暮らしの最先端地域になっている。
- 文化・芸術やスポーツに身近で親しむことができ、暮らしにゆとりをもたらしている。

# 施策の総合的展開について

- ・ 5つの「政策の柱」ごとに計画期間中に取り組む施策を整理しました。
- ・ それぞれの施策（下表において丸数字で表した施策）に「めざす姿」を掲げるとともに、その実現に向けた取組の進捗状況を測るための「成果指標」を設定します。

	該当する施策	主な成果指標
<b>柱1</b> 暮らしを 持続可能 に守る 安定した	<b>1-1 地球環境を保全する</b> ① 持続可能な脱炭素社会の創出 ② 人と自然との共生社会の実現 ③ 良好な生活環境保全の推進	・ 温室効果ガス総排出量 ・ 生物多様性保全パートナーシップ協定締結数 ・ 河川における環境基準達成率 <span style="float: right;">など</span>
	<b>1-2 災害に強い県づくりを推進する</b> ① 災害に強い県づくりの推進	・ 河川改修による水害リスク低減家屋数 <span style="float: right;">など</span>
	<b>1-3 交通や水道など社会的なインフラの維持・発展を図る</b> ① 持続可能なインフラ管理体制の構築 ② 確かな暮らしを支える持続可能な地域公共交通の確保	・ 緊急又は早期に対策が必要な橋梁における修繕等の措置完了率 ・ 公共交通機関利用者数 <span style="float: right;">など</span>
	<b>1-4 健康づくり支援と医療・介護サービスの充実を図る</b> ① 健康づくりの推進 ② 充実した医療・介護提供体制の構築	・ 健康寿命 ・ 救命救急センターの充実度評価Aの割合 <span style="float: right;">など</span>
	<b>1-5 県民生活の安全を確保する</b> ① 県民生活の安全確保	・ 刑法犯認知件数 <span style="float: right;">など</span>
<b>柱2</b> 産業を 創造的 に発展 させる 強靱な	<b>2-1 産業の生産性と県民所得の向上を図る</b> ① 成長産業の創出・振興 ② 稼ぐ力とブランド力の向上 ③ 産業人材の育成・確保	・ 労働生産性 ・ 県産農畜産物の輸出額 ・ 就業率 <span style="float: right;">など</span>
	<b>2-2 人や社会に配慮した環境再生的で分配的な経済を実現する</b> ① 循環経済への転換の挑戦 ② 地域内経済循環の推進	・ 一般廃棄物リサイクル率 ・ 地産地消を実践している割合 <span style="float: right;">など</span>
	<b>2-3 地域に根差した産業を活性化させる</b> ① 生活必需産業における担い手の確保の推進 ② 地域に根差した産業の活力向上	・ 新規就農者数 ・ デザサポながのによる支援件数、支援による ・ 商品化件数 <span style="float: right;">など</span>

柱3  
創造する社会生活の快適でゆとりを

柱4  
誰にでも居場所と出る番がある社会をつくる

## 該当する施策

## 主な成果指標

### 3-1 住む人も訪れる人も快適な空間をつくる

- ① 地域の特徴と自然の恵みを生かした地域デザインの推進
- ② デジタルの力を活用した便利で快適な暮らしの実現
- ③ 持続可能な地域づくりの推進
- ④ 本州中央部広域交流圏の形成
- ⑤ 移住・交流・多様なかかわりの展開
- ⑥ 山岳高原観光地域づくりの推進

- ・ 県民が広く親しめる里山の数
- ・ 長野県先端技術活用推進協議会を活用し実施した取組件数
- ・ 地域運営組織数
- ・ 信州まつもと空港利用者数
- ・ 社会増減
- ・ 観光消費額

など

### 3-2 文化、スポーツの振興などゆとりある暮らしを創造する

- ① 文化芸術の振興と文化芸術の力の様々な分野への活用
- ② 「信州やまなみ国スポ・全障スポ」の開催を契機としたスポーツ振興の推進

- ・ 文化芸術活動に参加した人の割合
- ・ 運動・スポーツ実施率

など

### 4-1 子どもや若者の幸福追求を最大限支援する

- ① 若者の結婚・出産・子育ての希望実現
- ② 子ども・若者が夢を持てる社会の創造

- ・ 合計特殊出生率
- ・ 信州こどもカフェ設置数・設置市町村数

など

### 4-2 年齢、性別、国籍、障がいの有無や経済状況等が障壁とならない公正な社会をつくる

- ① 年齢、性別、国籍、障がいの有無や経済状況等が障壁とならない公正な社会の創出

- ・ 他者の人権を尊重することについて意識して行動している人の割合

など

### 4-3 働き方改革の推進と就労支援を強化する

- ① 働き方改革の推進と就労支援の強化

- ・ 労働力率

など

### 4-4 女性が自分らしく輝ける環境をつくる

- ① 女性が自分らしく輝ける環境づくり

- ・ 性別によって役割を固定する考え方を肯定する人の割合

など

### 4-5 高齢者の活躍を支援する

- ① 高齢者の活躍の支援

- ・ 生きがいのある元気高齢者の割合

など

柱5  
誰が主たる主体になる  
社会もつとくが  
学ぶことが  
できる

該当する施策	主な成果指標
5-1 一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びを推進する ①一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進	・学校の教育活動全般に対する生徒の満足度（高校生） など
5-2 一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境をつくる ①一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境の創出	・「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」と答えた児童生徒（小6、中3）の割合 など
5-3 高等教育の振興により地域の中核となる人材を育成する ①高等教育の振興による地域の中核となる人材の育成	・県内大学の収容力 など
5-4 「共学共創」の地域づくりを推進し、生涯を通じた多様な学びを創造する ①「共学共創」の地域づくりの推進と生涯を通じた多様な学びの創造	・社会教育士の称号を有する者の数 など



# 「新時代創造プロジェクト」について

- 新しい時代に向けて、社会経済システムの転換や施策の新展開・加速化、他に先駆けた取組等を横断的に特に進めていく必要がある政策をピックアップし、「新時代創造プロジェクト」として取り組んでいきます。
  - 計画では、「新時代創造プロジェクト」を達成するための「リーディングアクション」の例をお示しし、具体的な「リーディングアクション」とその構成事業については、「新時代創造プロジェクト」の進捗状況や社会経済情勢の変化等に応じて、適宜改廃や追加等を行っていきます。
- ※「リーディングアクション」の例について、現時点ではお示ししていませんが、今後検討を進め、計画案に反映していく予定です。

名称	プロジェクトの方向性
1 女性・若者から選ばれる県づくりプロジェクト	● 男女の固定的性別役割分担意識の解消や、仕事と子育ての両立支援などにより、安心して出産・子育てができ、女性が働き、暮らしやすい社会へ転換
2 ゼロカーボン加速化プロジェクト	● エネルギー自立地域づくり、地域と調和した再生可能エネルギー導入加速化、高断熱住宅等の更なる普及などにより、ゼロカーボン社会へ転換
3 デジタル・最先端技術活用社会実現プロジェクト	● IT企業・人材の集積、最先端技術の導入・活用等により、生産性の高い産業構造への転換やどこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会へ転換
4 個別最適な学びへの転換プロジェクト	● ICTの利活用や産学官連携などにより、児童生徒一人ひとりの個別最適な学びを実現し、グローバルな視野で新しい価値等を創造する若者を育成・輩出
5 人口減少下における人材確保プロジェクト	● 働き方改革の浸透、多様な人材の活躍等により担い手不足が解消するとともに、学び直し等により一人ひとりが希望する働き方を実現できる社会へ転換
6 グローバル経済システム再構築プロジェクト	● 企業の海外展開支援や成長産業への参入支援、インバウンド需要の取り込み等により、地域外から獲得した利益が地域内で循環する社会へ転換
7 県内移動の利便性向上プロジェクト	● 行政の主体的関与により、将来にわたり必要な地域公共交通を確保するとともに、県内を円滑に移動できる環境を整備
8 輝く農山村地域創造プロジェクト	● 農山村地域の課題や条件不利性の克服、ブランド力の向上を通じて、新しい生き方や暮らし方、価値が生み出されるキラリと輝く地域を創造

# 「地域計画」について

・10の広域圏ごとに独自性を発揮した地域計画を策定しました。

## 佐久

青空・高原・清流が織りなす風土、人々の知恵が紡ぎ出す  
多彩な暮らし・産業・学びが魅力  
住んでよし・訪れてよしの佐久地域は、錦の花さく地域を目指します

- 1 「晴れやかな空の下、心晴れやかに暮らす」確かな生活の基盤づくり
- 2 「佐久の産業は粒ぞろい」未来につなげる産業づくり
- 3 「教育が人を呼び込む」首都圏からの利便性と人を活かした地域づくり

(地域連携プロジェクト)

- 1 浅間山の防災体制の強化
- 2 中部横断自動車道の整備促進

## 上田

多彩な魅力で人を惹きつけ、暮らしやすさを実感し、  
脱炭素社会をリードする上田地域

- 1 上田地域の魅力の向上と発信による人を惹きつける観光地域づくり
- 2 地域を支える産業のグレードアップ
- 3 穏やかに暮らし続けられる地域づくり
- 4 持続可能な脱炭素社会の地域づくり

## 諏訪

～諏訪の湖・八ヶ岳の恵み～  
活力ある地域を未来につなぐ

- 1 ものづくり・観光・農林業振興
- 2 諏訪湖創生ビジョンの推進
- 3 八ヶ岳・霧ヶ峰の豊かな自然と共生する地域づくり
- 4 脱炭素社会、安全・安心な地域の実現

## 上伊那

人々の思いが力が重なり 高まり未来を創る  
二つのアルプスに護られた水と森林と太陽の伊那谷

- 1 伊那谷の未来を創る「ひと」づくり
- 2 誰もが安心して、快適に暮らし、人生を楽しめる「まち・暮らし」づくり
- 3 人が集い、新たな価値を共創する「つながり」づくり
- 4 22世紀も二つのアルプスにライチョウが生息し続けられる「脱炭素社会」づくり

## 南信州

リニア新時代のドアを拓く  
伝統文化と最先端技術が輝く南信州

- 1 高速交通網開通の効果を最大限に活かす基盤整備
- 2 「南信州らしさ」を守り未来につなげる地域づくり
- 3 地域資源や特性を活かし地域を支える産業振興
- 4 安全・安心に暮らすことができる住みやすい地域づくり

## 木曽

豊かな自然と歴史・文化に育まれた  
「木曽らしい」暮らしを維持する地域づくり

- 1 林業・木材産業の振興と森林資源を活かした二酸化炭素吸収源の確保
- 2 木曽らしさを活かした観光振興
- 3 地域防災力・減災力の強化
- 4 人口減少下における持続可能な地域づくり

## 松本

人々が生き、賑わいあふれ、  
快適で暮らしやすい信州の中心「松本地域」

- 1 信州まつもと空港の利用促進と拠点整備の推進
- 2 大規模地震・噴火・水害等の発生に備えた対策の充実・強化
- 3 中部山岳エリアにおける広域的な観光振興と交通網の整備
- 4 地域ブランドを活かしたゆたかな暮らしと移住への取組

## 北アルプス

北アルプスの恵みを活かした観光や農林業などの産業が栄え、  
暮らす人が幸せを実感し、訪れる人が感動する地域をめざします

- 1 農業、林業、製造業などの稼ぐ力を高める
- 2 観光誘客や移住者増加につながる地域の魅力を高め、発信する
- 3 地域の中で安心して生活できる環境を整え、次の世代につなぐ

## 長野

人が輝き活力あふれる「中核的都市圏・長野」

- 1 大規模災害の経験を生かし「自然災害に強い持続可能な長野地域」をつくる
- 2 ポストコロナ時代には選ばれる「誰もが自分らしく健康に暮らせる長野地域」をつくる
- 3 人口減少下にあっても「デジタル技術や地域の強みを生かし今後も躍進する長野地域」をつくる

## 北信

豊かな大地と自然に恵まれたふるさと  
雪とともに暮らす北信州

- 1 人々が集う暮らしの推進
- 2 豊かな大地と自然に恵まれた農業・観光業の振興
- 3 雪国の暮らしを支える生活基盤の維持と確保

# 長野県総合5か年計画（原案）のポイント

2022.12.26

## 1 基本目標「確かな暮らしを守り、信州からゆたかな社会を創る」

○これからの県づくりに県民と共に取り組む新しい基本目標を提示

### 『確かな暮らしを守る』

新型コロナ、物価高騰、気候変動・災害の激甚化、人口減少・担い手不足など、かつてない危機的な状況を克服し、県民の命と暮らしを守る

### 『信州からゆたかな社会を創る』

社会・経済が成熟する中で、信州の強みや特色を十分に生かして、物質的にも精神的にも満たされた、本当の意味でゆたかな社会を長野県が全国に先駆けて創っていく

○基本目標は、語尾を動的な表現とし、また、「信州から」とすることで、長野県が他県に先駆けてゆたかな社会を創っていくことを決意

○また、基本目標を実現するための「5つの政策の柱」を設定

持続可能で安定した暮らしを守る

創造的で強靱な産業の発展を支援する

快適でゆとりのある社会生活を創造する

誰にでも居場所と出番がある社会をつくる

誰もが主体的に学ぶことができる社会をつくる

## 2 危機的状況を克服する計画

○新型コロナ、物価高騰、気候変動・災害の激甚化、人口減少・担い手不足など、かつてない危機的な状況の中で策定する計画

○こうした危機的状況下において、「確かな暮らしを守る」ため、基本目標をより具体化した目指すべき社会の方向性をビジョンとして提示

### 「確かな暮らしを守る」を具体化したビジョン

- ▶ 医療・検査体制の確保等により、新型コロナ禍であっても救える命が救われている
- ▶ 現下の物価高騰を克服し、コロナ禍等で停滞した社会経済活動が再生・活性化している
- ▶ 省エネルギーや再生可能エネルギーの普及が進み、脱炭素社会に近づいている
- ▶ ハード・ソフトの両面から災害への備えが強化されている
- ▶ 出生数の減少傾向に歯止めがかかり、移住者やつながり人口が増加している
- ▶ 地域社会に不可欠な医療・福祉、農林業、交通・建設業等の担い手が確保されている
- ▶ 水道や交通などの公共インフラが安定的に維持・運営されている

## 3 現状を打破し真にゆたかな社会を創造する計画

○働き方や格差・貧困など現状の課題を打破し、真にゆたかな社会を創出する計画

○「ゆたかな社会を創る」ため、基本目標をより具体化した目指すべき社会の方向性をビジョンとして提示

### 「ゆたかな社会を創る」を具体化したビジョン

- ▶ 産業の生産性向上・働き方改革により、県民の所得が向上し多様な働き方が実現している
- ▶ デジタル技術の活用により、公共サービスや事業活動の利便性や効率性が向上している
- ▶ 結婚・子育て、教育など子ども・若者や女性の幸福追求が最大限保障されている
- ▶ 性別、障がい、所得等による差別・格差の解消が進み、誰にでも居場所と出番がある
- ▶ 高校改革、高等教育・リカレント教育の振興等により、学びの県づくりが進んでいる
- ▶ 医療機関の機能分担と連携が進み、介護サービスが質・量ともに充実している
- ▶ 健康に生活できる期間が長くなり、多くの高齢者が現役で活躍している
- ▶ 観光地域づくりやまちの緑化などが進み、快適でうおいのある空間が増加している
- ▶ 農山村や過疎地域等が人をひきつけ、人間的な暮らしの最先端地域になっている
- ▶ 文化・芸術やスポーツに身近で親しむことができ、暮らしにゆとりをもたらしている

## 4 社会を変革するプロジェクト「新時代創造プロジェクト」を提示

- 様々な危機が複合的に押し寄せている現下の難局を乗り越え、新しい時代に向けて、社会経済システムの転換や施策の新展開・加速化、他に先駆けた取組等を特に進めていく必要がある政策をピックアップし、「新時代創造プロジェクト」として、分野横断的に取り組む
- 現段階では、「新時代創造プロジェクト」の方向性を示しているが、今後、「リーディングアクション」の例を示す予定
- 「リーディングアクション」は、計画期間における状況の変化等に応じて、適宜改廃・追加等を行う

### 〔8つの新時代創造プロジェクト〕

女性・若者から選ばれる県づくりプロジェクト	男女の固定的性別役割分担意識の解消や、仕事と子育ての両立支援などにより、安心して出産・子育てができ、女性が働き、暮らしやすい社会へ転換
ゼロカーボン加速化プロジェクト	エネルギー自立地域づくり、地域と調和した再生可能エネルギー導入加速化、高断熱住宅等の更なる普及などにより、ゼロカーボン社会へ転換
デジタル・最先端技術活用社会実現プロジェクト	IT 企業・人材の集積、最先端技術の導入・活用等により、生産性の高い産業構造への転換やどこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会へ転換
個別最適な学びへの転換プロジェクト	ICT の利活用や産学官連携などにより、児童生徒一人ひとりの個別最適な学びを実現し、グローバルな視野で新しい価値等を創造する若者を育成・輩出
人口減少下における人材確保プロジェクト	働き方改革の浸透、多様な人材の活躍等により担い手不足が解消するとともに、学び直し等により一人ひとりが希望する働き方を実現できる社会へ転換
グローバル経済システム再構築プロジェクト	企業の海外展開支援や成長産業への参入支援、インバウンド需要の取り込み等により、地域外から獲得した利益が地域内で循環する社会へ転換
県内移動の利便性向上プロジェクト	行政の主体的関与により、将来にわたり必要な地域公共交通を確保するとともに、県内を円滑に移動できる環境を整備
輝く農山村地域創造プロジェクト	農山村地域の課題や条件不利性の克服、ブランド力の向上を通じて、新しい生き方や暮らし方、価値が生み出されるキラリと輝く地域を創造

## 5 県民と共に取り組むいわば共創型の計画

- 「信州これから会議」や「県内大学生からの施策提言」など多様な県民の意見や、少子化・人口減少対策に関する有識者の講演を生かした答申を踏まえ、計画の策定段階から実行段階に至るまで、県民と共に取組を推進

＜共創の仕組みの例＞

各部局：企業・団体との包括連携協定

環境部：ゼロカーボン社会共創プラットフォーム（くらしふと信州）

県民文化部：共創推進パートナー、共創ラボ など

## 6 AI シミュレーションの結果を反映

- 2029 年に向けて優先的に取り組む必要があるとされた 3 分野「若者」、「環境」、「公共交通」を新時代創造プロジェクト等に反映